

連合愛知第35回定期大会



**仲間の力を合わせて安心社会を築こう
～働く人や地域の頼りになる存在へ～**

連 合 愛 知 第 3 5 回 定 期 大 会



運営委員長：
電力総連 榎田 潤弥

10月27日(金)、名古屋市公会堂にて第35回定期大会を開催しました。参加者についてはコロナ禍前の規模に戻し、傍聴者を除く執行部、代議員・特別代議員総勢559人が参加しました。

可知会長より連合愛知を代表し、春闘・社会貢献活動・政治課題などの2023年度の取り組みに対する振り返りと来期の取り組みへの想いについて触れた挨拶がありました。(会長挨拶全文は2ページに掲載)

その後、動画による2023年度活動経過報告が行われ、続いて2023年度決算報告と余剰金処分案の後、「2024～20

25年度活動方針(案)」、「2024年度予算(案)」、「役員を選出」が審議・可決されました。

新役員のあいさつでは、代表して可知会長から退任者へのお礼とともに、決定した2年間の活動方針に基づいた活動を進めるとの力強い決意表明があり、その後の退任役員のあいさつでは、近藤前会長代行より支えて頂いた皆様への感謝あいさつがありました。

最後に参加者全員での「がんばろう」を行い、大会の幕を閉じました。



議長団・UAセンセン 河江 徳子(左)、愛教組 山岸 里子(右)



退任役員を代表してあいさつをする
近藤前会長代行



出席者全員で「がんばろう」

連合愛知第35回定期大会 可知会長 挨拶

連合愛知第35回定期大会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。本大会は、今年度の活動を振り返り、向こう2年間の活動方針並びに新たな執行体制を確認する大会となります。県内各地から参集頂きました役員、代議員、傍聴者の皆さん、大変ご苦労様です。

また本日は、ご多忙にも関わらず多くのご来賓の方々に、私たちの大会の激励の為に駆けつけて頂きました。後ほど司会よりご紹介し、代表の方からご挨拶を頂く予定ですが、皆さんの万来の拍手で御礼に代えたいと思います。

約3年半に亘るコロナ禍が終息に向かう中で、経済・社会活動は本格的に活発化して参りました。取り巻く情勢や環境が急激に変化する中で、今期一年、構成組織・加盟組合・地域協議会の皆さんに連合愛知の運動推進にご協力頂きました。総じて活動方針に基づく運動を、地道且つ着実に前進させられたものと受け止めております。ご協力を頂きました皆さんに深く感謝申し上げます。冒頭、今期を振り返りながら来期に思うところ3点に触れ、挨拶とさせていただきます。

先ず1点目は、春季生活改善闘争についてです。

2023春闘においては、結果として30年ぶりの高い水準を得るに至りました。これは生活防衛や人材確保の観点に加え日本経済の成長・発展に向けて、労使で精力的且つ真摯な交渉が行われた結果であると受け止めております。

しかしながら、足下では物価上昇に賃上げが追いつかず、実質賃金は16ヶ月連続でマイナスで推移していることから、この急性インフレに対応した賃上げは必須であり、その対応が経済の好循環を回していくことに繋がる訳であります。

2024春闘は、賃金も物価も経済も安定的に上昇する経済社会へステージ転換をはかる正念場となります。その鍵は持続的な賃上げに他なりません。また労働者の7割が雇用される中小企業の2023春闘における賃上げ率は相対的に低位に留まったことから「労務費も含めた適正取引・価格転嫁」による賃上げできる環境づくりも不可欠です。更に地域別最低賃金は、非正規雇用で働く方のセーフティネットであり、地方連合会の最大責務として勢力的に取り組む必要があることも申し添えておきます。

来春闘に向けた議論も始まりました。賃上げの勢いを一層加速し社会全体に波及させ、全ての労働者の賃金の底上げ、底支え、格差是正を目指して、連合組織を挙げて取り組んで参ります。

2点目は社会的な課題への対応と地域活動の取り組みです。

先の連合本部の定期大会冒頭の芳野会長挨拶で、フードドライブ活動に加え、豊橋地域協議会が自主的に取り組んだ「小中学校の給食費の無償化に向けた署名活動」に触れて頂きました。素直に誇らしく思いました。すぐに結果は出なくても、いつか実を結ぶものと確信しております。

こうした地域における社会的な課題の解決に向けた取り組みは、地域の方々の共感が得るものと推察され、連合という組織を地域の方々に深く認知頂くことに繋がるものと考えますし、全国の地協の見本となり得る運動と捉えております。

連合愛知の他地協においても、この1年、様々な団体との対話を受けて地域の活性化や災害発生時の連携が検討されるなど、着実に前進しております。こうした取り組みこそが地方連合会における「地域にねぎした顔の見える運動」であり、次年度以降も各地協における積極的且つ独創的な取り組みに期待しております。

社会の役に立つために「汗を掻くこと」は、労働運動の発展のみならず地域における連合の存在価値を高め、労働組合の地位の向上にも繋がるものと考えます。共に汗を掻いて参りましょう。

そして3点目は政治課題についてです。

岸田政権が発足して2年近く経ちますが、通常国会における防衛増税や次元の異なる少子化対策などの財源問題は置き去りした状態で、先日開会された臨時国会の首相所信表明で所得税減税を掲げました。

経済・社会活動の正常化が進み、本格的な景気回復が期待される一方で、エネルギー価格や物価の高騰などにより、国民の生活の負担感は高止まりしたままです。こうした中での所得税減税を否定するものではありませんが、インフレ対策としての減税、これは実質的な給付となりインフレを助長することになりますし、同じ政権で「通常国会で増税、臨時国会で減税」とは理解し難く、国民よりも次期衆議院議員選挙を意識したバラマキと言えるのではなでしょうか。その他にも看板政策は掲げるものの実効性が見えて来ません。私を含め多くの国民の思いであると推察します。臨時国会における立憲民主党・国民民主党のご奮闘に期待致します。

こうした現状にある中で、今後1年以内にあると言われる次期衆議院議員選挙に向け、連合愛知の第1次推薦候補者10名を10月25日の執行委員会で確認致しました。

私たち連合は、国民目線で政府・与党を追究し、働く者・生活者の立場に立つ政策実現を目指す連合の推薦候補者を、組織の総力を挙げて支援し国政に送る必要があります。



連合愛知 会長 可知洋二

これは連合の使命です。加盟組織の各段のご理解・ご協力をお願い致します。他方、立憲・国民の両県連に対しては、引き続き重複区や空白区への対応を求めて参ります。

政治活動で考えさせられることについても申し添えます。日本のナショナルセンター・連合の目指すところは「健全な議会制民主主義と働く者・生活者の立場に立つ政治の実現」であり、連合本部としては「連携する政党に所属する議員を中心に、また幅広い政治家との連携を模索しながら、二大政党的体制の一翼を担う、働く者・生活者の立場に立つ政治勢力の結集・拡大を目指す」としております。

支援する政党が分かれて以来、私たちは支援政党とその関係の影響を直接的に受け、各級議員選挙では都度、難しい対応を強いられて来ました。連合愛知の役員や構成組織・地協からも政党合流を求める声が多いのも事実です。こうした皆さんの思いや本部の考え方を踏まえて、「現状を変えること」を模索して行きたい、かつての「民主」のような結集を羨望しつつ関係する皆さんと広く深く議論を重ねて行きたい、そのようにも考えております。

来期も、私たちが目指す「働くことを軸とする安心社会」といった社会像を具現化すべく、運動を展開して参ります。とりわけ注力を要する活動に触れるとすれば、仲間づくりやジェンダー平等推進が挙げられ、その他にも、社会貢献や政治活動などの充実・強化も必要であります。

こうした旗を掲げること容易ですが、現実的に実践・実行することは容易ではありません。来期の運動推進にあたっては本議案書に「充実」や「強化」と記した活動に、熟慮を重ねた創意工夫を組み入れ、「必ず具体的に実行していく」そのことに拘って取り組んで行きたいと考えます。

3年半のコロナ禍を経て、働き方も大きく変容しました。その代表例がWebを活用したミーティングや在宅勤務の拡大であると思います。この働き方を是とする一方で、労働運動の根幹である対面での活動が激減し、考え方や熱意が伝わり難くなり、結果として組織力の低下を招いているように思います。組合活動の推進に制約が無くなりつつある昨今、あらためて自組織を見つめ直すことも肝要であろうと思います。連合愛知としても、新たな運動スタイルの実践を含めコミュニケーションの活性化を追求して参ります。

結びに入ります前に、平和への思いに触れておきます。ロシアのウクライナ侵攻の長期化に加え、中東イスラエルにおける紛争、その惨状に言葉を失います。尊い命を無差別に奪うことは断じて許されません。当該地域で暮らす方々の耐え難き苦痛や悲痛に想いを馳せ、一刻も早く地域の平和が戻ること、人々に少しでも笑顔が戻ることを切に祈ります。

核兵器のない平和で安定した国際社会は、世界の労働者が安心・安全な生活を維持する絶対条件であります。「平和なくして労働運動はない」。平和の尊さを深く胸に留めおきながら行動して行きたいと思っております。

世界秩序が崩壊したと言っても過言ではない情勢の中で、国内的にも人口減少による社会構造の変化に加えて、DX、GXなど産業構造の変化など、私たちを取り巻く環境は、これまで経験した事のない速さと規模で変化を続けています。山積する課題の糸口すら見えない現状から、日本の将来を、子供たちの未来を憂う国民が大半であるかのように思います。だからこそ連合は「安心社会」を希求します。将来不安が増幅する時代だからこそ連合愛知は、「働く人や地域の頼りになる存在」となるべく運動を模索して行きます。時代や働く者のニーズを踏まえた運動に転換していくことなど新たな取り組みにもチャレンジして参ります。

以上、纏々申し上げましたが、構成組織、加盟組合、地域協議会の皆さんが、連合愛知の運動を進める上での原動力であります。

迎えます新年度、連合愛知55万人が一致団結して運動を進めて頂くことをお願いし連帯の挨拶といたします。私たちの運動の更なる飛躍に向けて共に頑張らしましょう。

2023ユース・フォーラム

「SDGs」について見識を深める

CNG委員会では活動の一つとして、「SDGsについて学ぶ」をテーマに挙げています。この一年間に委員の皆さんが学んだことや、感じたことを広く同世代と共有することを目的として、9月30日(土)にTKPガーデンシティPREMIUM名古屋新幹線口で「2023ユース・フォーラム」を開催しました。

CNG委員会の活動報告では、今年度の振り返りと活動目的である「フードドライブの必要性」を理解し広めてもらうためのツ



ールとして作成したチラシと動画を紹介し、各構成組・単組での引き続きの取り組みをお願いしました。その後の学習会は、中央学院大学の中野先生と愛知学院大学の関先生による、「ゲームで体感するSDGs」と題し、カードゲームをしながらSDGsの必要性を学びました。参加者は17ある目標を達成するため、真剣にグループで話し合っ楽しく学ぶことが出来ました。

また、当日持ち寄っていたいただいたお米や食品は29.1Kgとなり、後日、セカンドハーベスト名古屋へ届けました。

CNG委員会が作成したフードドライブ活動の紹介動画 (YouTube)



連合愛知コンサート「名フィルと共に」

10月7日(土)、愛知県芸術劇場コンサートホールにて、連合愛知クラシックコンサート「名フィルと共に」を開催しました。

今年度はコロナ禍前の様に入場者数の制限を設けず募集を行い、1,951名のご参加がありました。

コンサート内容は「芸術の秋～心躍る映画・ミュージカル音楽～」をテーマに映画音楽の名曲を揃え、指揮者に太田弦さんお迎えし開催しました。親しみやすい演目だったため、多くの親子づれや若年層の方にも参加していただき、クラシック音楽を通じて地域文化の振興につなげることができました。



愛知県知事との懇談会



去る8月7日(月)に大村愛知県知事へ提出した、「2023-2024年政策要望書」に対する知事との懇談会を10月20日(金)に行いました。

県からは大村知事をはじめとする関係部局が、連合愛知からは会長はじめ副会長を中心とした役員が出席しました。

「2023-2024年政策要望書」における、特に重点的に取り組みが必要な5項の政策について、県の取り組み状況の説明を受けるとともに、

副会長から回答に対する深掘りした意見が出されるなど、活発な意見交換が行われました。

今回の内容を踏まえ、令和5年度予算への反映に向けて取り組みを進めていきます。

懇談テーマ

- ①適正取引・価格転嫁にむけた取り組み
 - 適正取引・適正な価格転嫁ができる環境づくりについて
- ②教員の欠員の対策について
 - 教員の欠員対策について
- ③「ラーケーションの日」と「県民の日学校ホリデー」の取り組みについて
 - 男性の育児休業取得にむけた取り組み強化
- ④休み方改革の東海地域全体での取り組みについて
- ⑤「中小企業振興基本条例」県内全市町村制定にむけた働きかけについて



愛知県
連合愛知



第13回(拡大)執行委員会 2023年10月25日

議事

- 1.連合愛知諸規則「専従者業務規則」の一部改定(案)について
- 2.地協事務局長の交代及び地協交付金の取り扱いについて
- 3.労働相談センター雇用契約について
- 4.連合労働相談センター中日本相談員雇用契約について
- 5.第50回衆議院議員選挙に伴う候補者推薦について
- 6.地協政策推進議員懇談会2023年度活動実績報告の取り組みについて
- 7.碧南市議会議員選挙に伴う候補者推薦について
- 8.大府市長選挙に伴う候補者推薦について

確認事項

- 1.退任役員への功労記念品の贈呈について
- 2.2024連合愛知新春交礼会について
- 3.東海ブロック女性会議への参加について
- 4.部落解放愛知県共闘会議「第48回定期総会」への参加について
- 5.2023年「人権週間」記念集会への参加について
- 6.2023年12月「全国一斉集中労働相談ホットライン」実施に伴う対応について
- 7.県民の日学校ホリデーにおける「ここあファームイベント」について
- 8.世界寺子屋運動「書き損じはがきキャンペーン」の展開について

報告事項

- 1.連合本部関係
- 2.連合愛知関係
- 3.地域協議会関係
- 4.行政及び友誼団体関係

その他

- 1.2024-2025年度常任執行委員会の代理者登録について
- 2.第35回定期大会における役員選挙立候補者について(役員推せん委員会委員長提案)
- 3.連合愛知執行委員会後の懇親会(通称:アディショナル執行委員会)の開催について
- 4.ジェンダー平等推進に関する学習会について
- 5.当面の日程について

第1回執行委員会 2023年10月27日

議事

- 1.連合愛知会長・事故ある時の任務代行順位について
- 2.2024年度連合愛知事務局体制(案)
- 3.2024年度連合愛知各種委員会構成委員の確認について
- 4.2024年度連合愛知年間大日程について



「もしも」に備え
 「もしも」を防ぎ
 「もしも」に向き合う。

「みんなでたすけあい。豊かで安心できる社会」の実現に向け、皆さまとともに取り組んでいきます。

3D式キャラクター
ヒツトくん

こくみん共済 NEWS

たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済〈全労済〉
全国労働組合共済連合会 coop

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

あなたの職場で働くすべての人と家族の
 こころの相談室

心の相談室

電話相談 052(618)7831 な や み いちばん

専用電話 月/15:00~19:00 水/12:00~19:00 金/16:00~20:00
 ※祝祭日を除く。相談料は無料ですが、電話料は相談者負担となります。

面接相談 場所/ (社)日本産業力カウンセラー協会中部支部
 ※事前の予約が必要です(1回の面接時間は1時間以内)。2回目までの相談は無料で、3回目以降は1回当たり1,000円を相談者に負担して頂きます。

Facebook いいねしてね!

Facebook icon

◀ 連合本部
連合愛知 ▶

あなたの「いいね」が社会に向けた世論喚起につながり、あなたの「シェア」が大きな力となります!

連合愛知ホームページ

連合愛知の活動紹介、ブログ、各種資料データなどを掲載しています。ぜひ、ご覧ください。